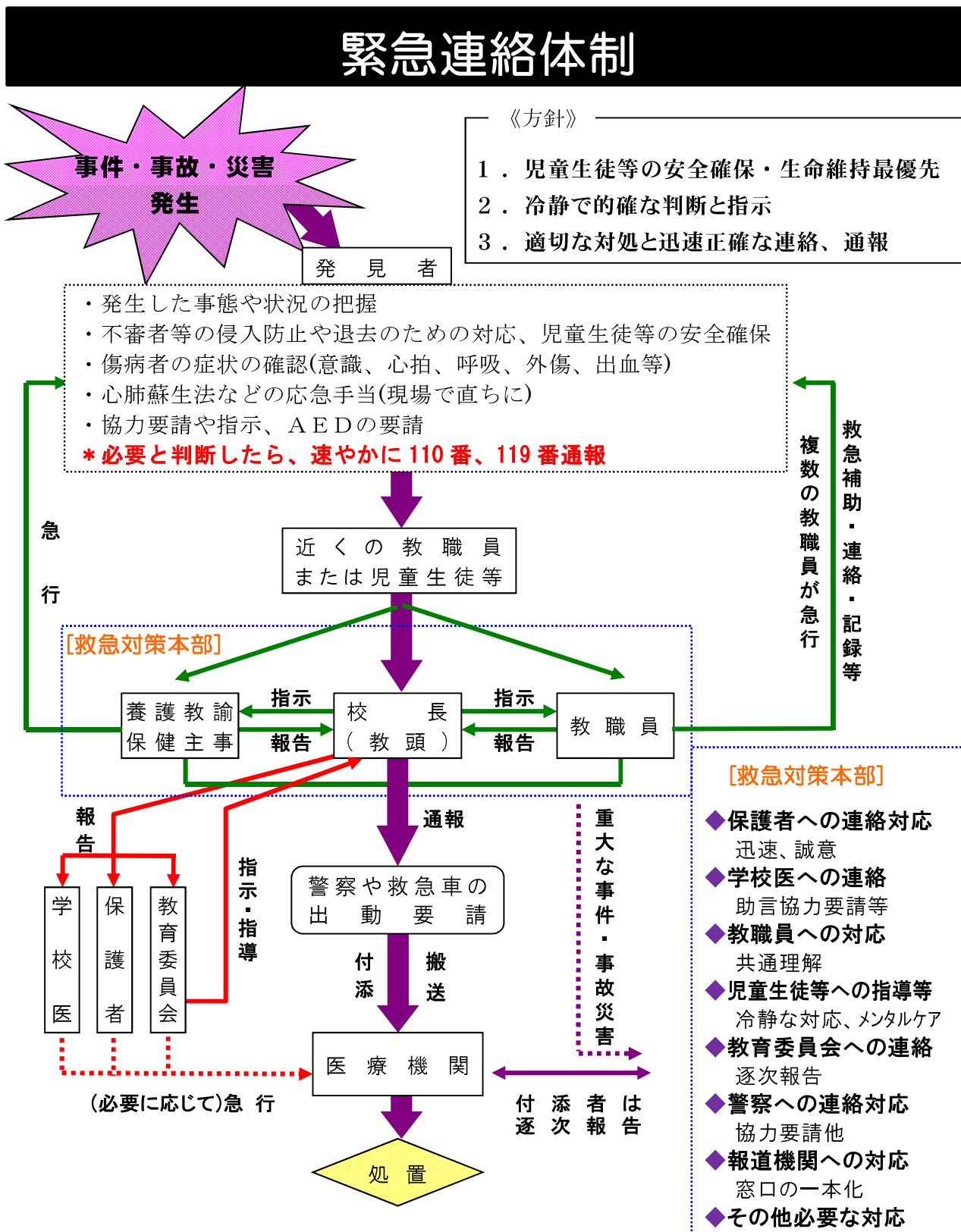


2 緊急時の対応のための体制づくり

アナフィラキシーは、非常に短時間のうちに重篤な状態に陥ることがあります。緊急時に適切な対応ができるよう、あらかじめ決めておいた救急及び緊急連絡体制に沿って、管理職のリーダーシップの下、全教職員が適切な役割を分担し、一丸となって対応できる体制を整備しておく必要があります。

<危機管理マニュアル例>

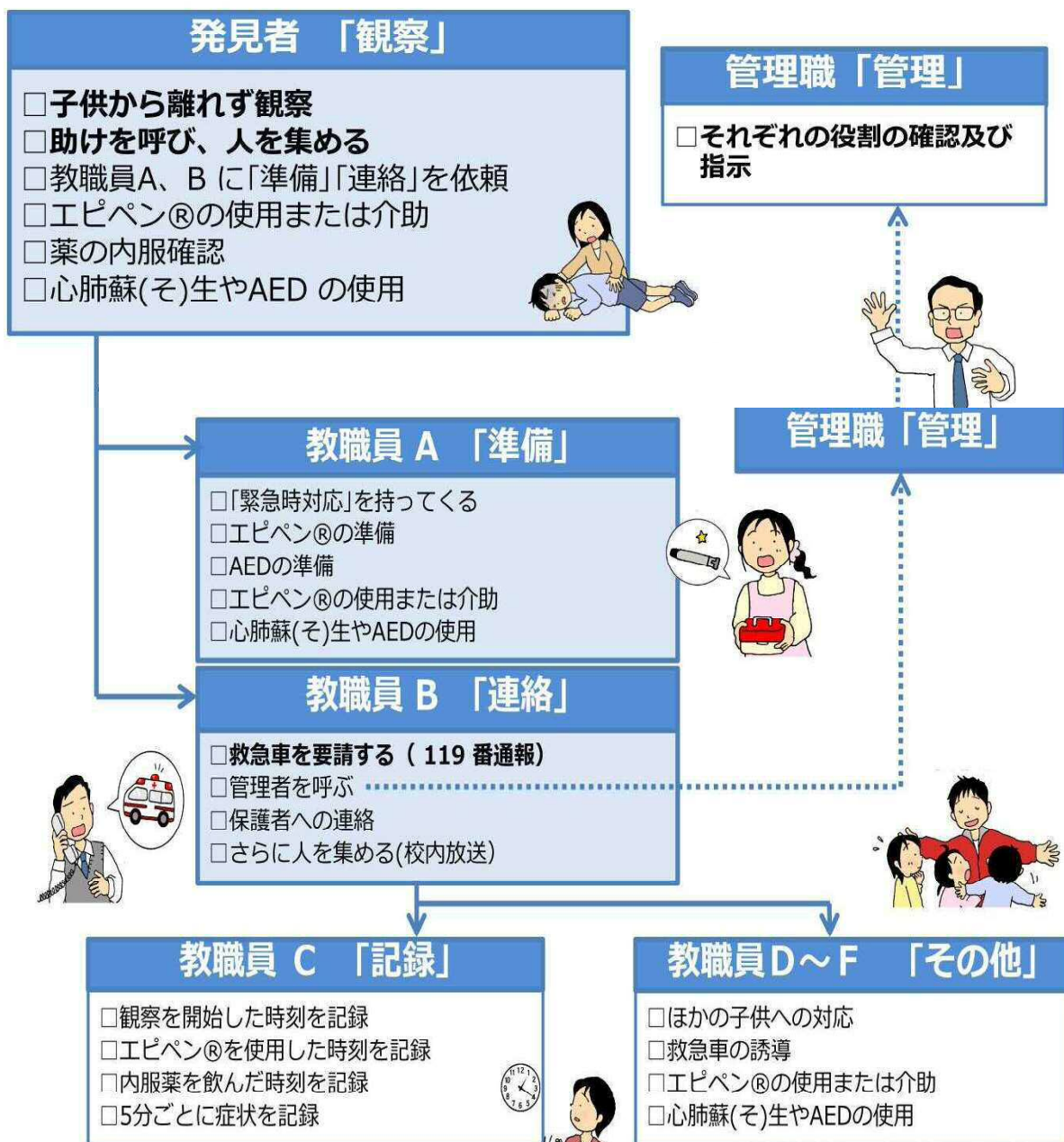


〈食物アレルギー対応〉

〈緊急時に適切な対応をするために〉

- 危機管理マニュアル(食物アレルギー)と緊急時個別対応マニュアルを作成すること
- 全ての教職員がマニュアルを理解し、役割分担ができるようにすること
- 定期的に緊急時対応の訓練(シミュレーション)をすること

学校内での役割分担



文部科学省・(公財)日本学校保健会
東京都「食物アレルギー緊急時対応マニュアル」一部改変し、引用

緊急時の判断と対応

発見者 = 観察者

- 子供から離れず観察
- 助けを呼ぶ
- 緊急性の判断
- エピペン®、AEDを指示

アレルギー症状がある（食物の関与が疑われる）

原因食物を食べた（可能性を含む）

原因食物に触れた（可能性を含む）

呼びかけに反応がなく、呼吸がなければ、心肺蘇(そ)生を行う

<緊急性が高いアレルギー症状>

全身の症状

- ぐったり
- 意識もうろう
- 尿や便を漏らす
- 脈が触れにくい
- 唇や爪が青白い

呼吸器の症状

- のどや胸が締め付けられる
- 声がかすれる
- 犬が吠えるようなせき
- 息がしにくい
- 持続する強いせき込み
- ぜーぜーする呼吸（ぜん息発作と区別できない場合を含む）

消化器の症状

- 我慢できない腹痛
- 繰り返し吐き続ける



一つでもあれば

緊急性が高いアレルギー症状があるか、5分以内に判断

東京都：「食物アレルギー緊急時対応マニュアル」一部改変し、引用

文部科学省・（公財）日本学校保健会

緊急性が高いアレルギー症状への対応

チームワークが大切

- 救急車を要請（119番通報）
- ただちにエピペン®を使用
- 反応がなく呼吸がなければ、心肺蘇(そ)生を行う ➡ AEDの使用
- その場で安静にする **立たせたり、歩かせたりしない！**

<安静を保つ体位>

ぐったり、意識もうろうの場合



血圧が低下している可能性があるため、あお向けで足を15～30cm高くする

吐き気、おう吐がある場合



おう吐物による窒息を防ぐため、体と顔を横に向ける

呼吸が苦しくあお向けになれない場合



呼吸を楽にするため、上半身を起こし後によりかからせる

- その場で救急隊を待つ

文部科学省・（公財）日本学校保健会

東京都：「食物アレルギー緊急時対応マニュアル」一部改変し、引用

エピペン®の使い方

◆それぞれの動作を声に出し、確認しながら行う

① ケースから取り出す



ケースのカバーキャップを開け
エピペン®を取り出す

② しっかり握る



オレンジ色のニードルカバーを
下に向け、利き手で持つ

“グー”で握る!

③ 安全キャップを外す



青い安全キャップを外す

④ 太ももに注射する



太ももの外側に、エピペン®の先端
(オレンジ色の部分)を軽くあて、
“カチッ”と音がするまで強く押し
あてそのまま5つ数える

**注射した後すぐに抜かない!
押しつけたまま5つ数える!**

⑤ 確認する



使用前 使用後

エピペン®を太ももから離しオレ
ンジ色のニードルカバーが伸び
ているか確認する

伸びていない場合は「④に戻る」

⑥ マッサージする



打った部位を10秒間、
マッサージする

介助者がいる場合



介助者は、子供の太ももの付け根と膝を
しっかり抑え、動かないように固定する

注射する部位

- 衣類の上から、打つことができる
- 太ももの付け根と膝の中央部で、かつ
真ん中 (A) よりやや外側に注射する

仰向けの場合

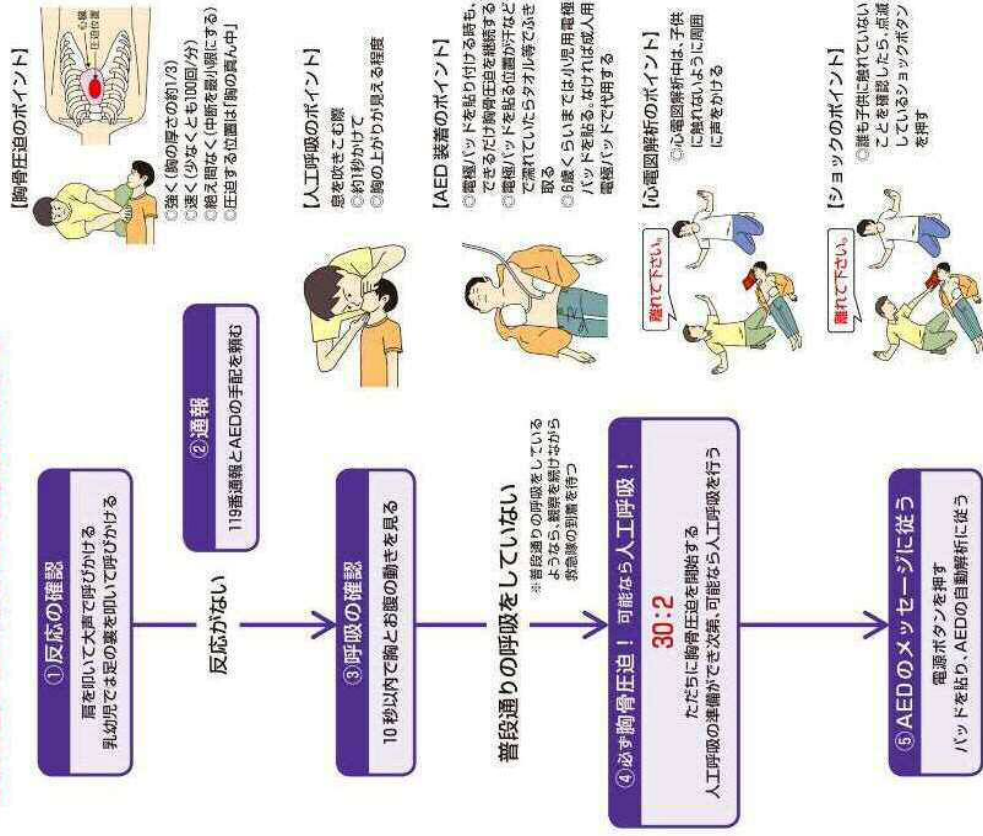


座位の場合



心肺蘇生とAEDの手順

- ◆ 強く、速く、絶え間ない胸骨圧迫を！
- ◆ 救急隊に引き継ぐまで、または子供に普段通りの呼吸や目的のある仕草が認められるまで心肺蘇生を続ける



東京都：「食物アレルギー緊急時対応マニュアル」引用

救急要請(119番通報)のポイント

◆あわてず、ゆっくり、正確に情報を伝える

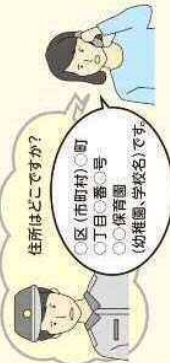


① 救急であることを伝える



② 救急車に来てほしい住所を伝える

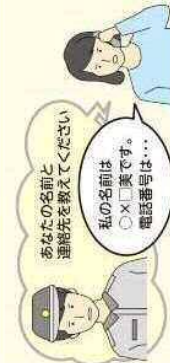
住所、施設名をあらかじめ記載しておく



③ 「いつ、だれが、どうして、現在どのような状態なのか」をわかる範囲で伝える
エビベン®の処方やエビベン®の使用の有無を伝える



④ 通報している人の氏名と連絡先を伝える
119番通報後も連絡可能な電話番号を伝える



- ※ 向かっている救急隊から、その後の状態確認等のため電話がかかってくる可能性がある
- ・通報時に伝えた連絡先の電話は、常につながるようにしておく
- ・その際、救急隊が到着するまでの応急手当の方法などを必要に応じて聞く

東京都：「食物アレルギー緊急時対応マニュアル」引用

緊急時個別対応マニュアル

__年__組 男・女 氏名__原因食品(____)

●**緊急時薬**〈保管場所__〉

分類	薬剤名	使うべき症状	使い方
抗ヒスタミン薬		じんましん・かゆみ・紅斑	内服
ステロイド		症状が続くとき	内服
気管支拡張薬		咳・ゼーゼー・息苦しさ	内服・吸入

●**エピペン®**

あり〈保管場所__〉・ 保護者所持 ・ 処方なし

●**連絡先**

保護者	TEL (____) — 氏名 (続柄____)
	TEL (____) — 氏名 (続柄____)
医療機関	TEL (____) — 病院名 (医師____)
	TEL (____) — 病院名 (医師____)

症状チェック!

__時__分

全身

ぐったり
 意識もうろう
 尿や便をもらす
 脈をふれにくい、不規則
 唇や爪が青白い
 (__時__分)

①体温 ____℃
 ②脈 ____回/分(不正 有・無)
 ③呼吸数 ____回/分
 ④血圧 最高 ____ / ____ 最低 ____

数回の軽い咳
 (__時__分)

児童生徒の
顔写真

呼吸器

のどや胸のしめつけ感
 声がかすれる
 犬が吠えるような咳
 息がしにくい
 持続する強いせき込み
 ゼーゼーする呼吸
 (__時__分)

中等度のおなかの痛み
 1～2回のおう吐
 1～2回の下痢
 (__時__分)

軽なおなかの痛み
 (我慢できる)
 吐き気
 (__時__分)

消化器

持続する強い(我慢できない)おなかの痛み
 繰り返し吐き続ける
 (__時__分)

顔全体の腫れ
 まぶたの腫れ
 (__時__分)

目のかゆみ・充血
 口の中の違和感・腫れ
 くしゃみ・鼻水・鼻づまり
 (__時__分)

顔

軽度のかゆみ
 数個のじんましん
 部分的な赤み
 (__時__分)

皮膚

強いのかゆみ
 全身に広がるじんましん
 全身が真っ赤
 (__時__分)

上記の症状が
1つでもあてはまる場合

1つでもあてはまる場合

1つでもあてはまる場合

- ① エピペン使用
- ② 救急車要請
- ③ ショック体位
- ④ 心肺停止?
→心肺蘇生・AED

- ① 保健室へ運ぶ(歩かせない)
- ② 緊急時薬使用
- ③ エピペン準備
- ④ 医療機関へ(救急車考慮)

- ① 保健室で経過観察
- ② 緊急時薬使用
- ③ 保護者に連絡

参考：東京都「食物アレルギー緊急時対応マニュアル」
名古屋市「アレルギー緊急時対応マニュアル」